

情況・開明・実学
光岡 明 著
(熊本近代文学館館長)

実学党の人びと

実学党は党という以上、ひとつのグループです。幕末の天保年間、だいたい一八四〇年ごろに、長岡是容、横井小楠、萩昌国、下津久馬、元田永字らによってはじめられた。熊本藩の藩政を改めようとする一派につけられた名称です。

長岡是容は家禄一万五千石、代々肥後藩執政です。藩主齋藤は弘化元年（一八四四）、是容に直書を下して「実学、実芸の者」の養成を命じました。それ以来、「実学党」といわれるようになったといえます。しかし、藩政の主流は藩校時習館の出身者で、守旧的立場に立つ学校党で、実学党は熊本では傍流でした。この対立は長くつづきます。



竹崎茶堂

横井小楠



長岡是容

徳富一敬

実学党は安政（一八五四年以降）に入ってから、それぞれ住んでいた場所の名をとって、長岡是容の坪井派と、横井小楠の沼山津派に分かれます。原因は四書のひとつ「大学」の最初にある「大学の道は明德を明らかにするにあり、民を新にするにあり」の解釈をめぐって、まず明德を明らかにするのが根本であるという長岡是容と、民を新にするのが今日の急務であるとする横井小楠の対立といわれます。この対立原因のくわしい考察は、歴史の専門家にまかせるとして、私たちはこのころ、横井小楠がそれまで交流していた肥後勤皇党、ひいてはその尊皇攘夷という思想から離れ、開国論へ変わっていった、ということを感じておけばいいと思います。幕藩封建制を守ろうとする佐幕派である学校党、尊皇攘夷を主張する勤皇党、それに尊攘論を引きずった藩士派実学党から、はっきり開国論を唱えた豪農派実学党が分離していったのです。横井小楠の学塾は豪農層によって支えられ、弟子に徳富一敬（蘇峰、蘆花の父）、竹崎茶堂らがいきました。横井小楠とはすべて縁戚です。

では、実学党とはいったいどういう学問だったのでしょうか。藩校時習館の教学は日本全国そうだったように朱子学ですが、次第に字句の解釈に流れ、観念的、非実践的になりま

した。学問と政事（まつりごと）が分かれていったのです。この傾向に対抗するかたちで興ったのが、実学党といっていいでしょう。実学ということとは、なにも肥後の専売特許ではなく、また当時の学者やいまの歴史、思想学者によって、いろいろと定義されていますが、共通していることは「実証性と合理性に裏づけられて、私たちの實際生活に役立つ学問」（源了圓国際キリスト教大学教授・宇土市出身）ということでしょう。哲学的というよりも実証的です。人文的というよりも自然科学的、技術的、法制経済的な学問、といわれています。学問を直接、政治に役立てようというわけです。

横井小楠はついに肥後藩に容れられませんでした。その実学を高く評価した越前藩井藩の松平春嶽によって、まず安政五年（一八五八）賓師（諸侯の身分の高い相談役）として招かれました。そのとき提出したのが、代表的著作といわれる「国是三論」です。富国論、強兵論、士道の三部から成ります。

その大意を見ましょう。（読者諸賢よ、元熊大教授花立三郎全訳注「国是三論」が講談社学術文庫で出ています。ぜひ本文に当たって下さい）例えば「富国論」では、鎖国、開国ともに利害があることを論じた上で、「天地の気運に乗じ万国の事情に随い、公共の道を以て天下を経綸せば万方無碍にして、今日の憂る所は惣て憂るに足らざるに至るべきな

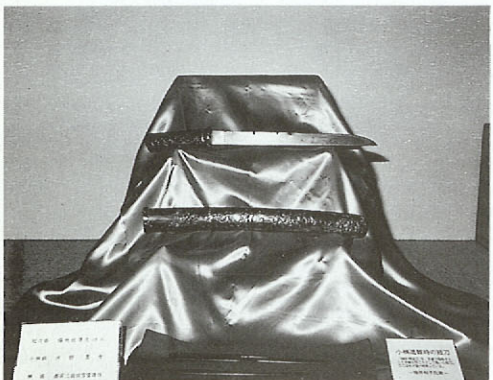
り」と言いきり、その具体策をのべます。外国通商の利を興しなさい。そのために五穀租税のほか糸、麻、こうぞ、うるしなど民間で生産されるものを、藩で一手に買って売りなさい、増産するために民間に資本を貸しなさい、便利な機械があれば貸しなさい、工業や商業も同様です。武士にも航海や養蚕の術を教えなさい。生産物を外国に売れば、物価が上下せず、利益も出る。ただ、いまは外貨との銀の比率が低いので、物価を上げておくのも一方法だ。などと微に入り細に入り入ります。「強兵論」では銅山、鉄山を開き、その利益で軍艦や兵器を購入し、海軍をつくることを説き、「士道」では文武を二分すべきではないことをのべます。

まさに実学の粋ですが、横井小楠の図抜けていたところは、こういう幕末から明治という状況を踏まえた時務論、政策論の底に「天」にいたる道筋を考えていたことです。実学党は藩政最末期の明治三年（明治新政府の参与という重職にあった横井小楠は、前年、京都で暗殺され、この世にいません）に、肥後藩庁をにぎり、熊本の明治維新はこの年にはじまったといわれるのですが、長つづきしません。

実学はその性格からいって、どうしても情況追隨的です。幕末の熊本の場合、商工業、ブルジョアジーの発展がなかったこともあり、保守的な風土をつくり上げたことからわかるといって、真の意味の実学は、情況に左右されない一本の筋を持たなければならぬのではないのでしょうか。現代社会はまさに実学的情況です。いまこそ横井小楠をもう一度、見直すべきだと思います。



小楠旧居 四時軒
■お問い合わせ■
熊本市横井小楠記念館(四時軒)
(096)368-6158



小楠遺品の短刀
1869(明治2)年、京都で暗殺された時、敵を防ごうとして用いた。